



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

相国寺展
金閣・銀閣
鳳凰がみつめた美の歴史
雪舟から応挙、若冲へ受け継がれる名品
そこに物語があった
10.11迄-11.27迄
愛知県美術館

平和の俳句

ジャンプを煮る音(ふつ)ふつと終戦日
竹田郁子(60) 兵庫県丹波篠山市
〈夏井いづき〉ジャンプの煮る音や香りは、幸福な日常の象徴だ。ふつと煮る音やかな音に平和な日々を享受する終戦日の今日。

読者にお得!
中日新聞プラス
4910855151740 00127

2024年 8月17日(土)
(令和6年)

きょうの紙面

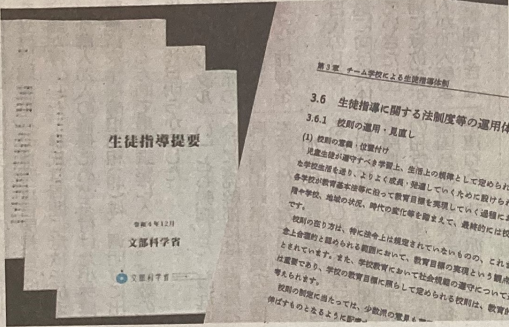


19面
ありがとう
■タイ、タクシン氏次女の37歳
新首相にペートンタン氏
■Vチューバーが歌声採点

校則改定 規定なし半数

生徒の人権を脅かす「ブラック校則」の抑止などため文部科学省が、各校の校則に定めるよう促している内容の見直し手続きについて、愛知県内の公立高校165校192課程のうち、少なくとも半数近くの86課程では依然、校則に規定されていないことが県教委などの取材で分かった。専門家は「生徒がルールについて考えるきっかけにもなり、見直しについて規定しない理由はない」と指摘する。(植木創太)

愛知の公立高



文科省「ブラック」抑止促す 県教委 一律押し付け困難

文科省は2022年のことも基本法の成立を受け、生徒の指導方法などをまとめた「生徒指導要綱」を改定。ブラック校則への批判が高まる中、校則を絶対視し見直しを促すための手続きを示しておくことが望ましいとの内容が盛り込まれた。本紙は愛知県、名古屋市、豊橋市の各教育委員会に高校の校則や校則に準ずる文書(生徒心得など)の情報提供を求め、改正や見直しを規定する記述があるかどうかを調べた。記述がなかった86課程の内訳は、全日制63課程、定時制21課程、通信制2課程。全日制では全体の4割、定時制では7割を占め、通信制は全2課程ともなかった。全日制と定時制を併設する高校で全日制にだけ見直しの記述があるケースが複数みられた。その一つ、一宮高は「全日制も定時制も校長は同じだが、カリキュラムや職員が異なり校則も違う」と説明する。名古屋市立高では、全14校のうち見直しの記述があるのは富田高の1校だけ。市教委の担当

者は「校則は各校で適宜見直しているが、多くの高校で規定がないのは事実。今後検討を促していきたい」とした。見直しについて何らかの記述がある106課程の中でも、生徒会の発議やPTAとの協議など詳しく定める学校もあれば、「適宜検討する」との記述にとどまる学校もあり、温度差がみられた。校則を巡っては、愛知県教委なども見直しを促すよう呼びかけているが、校則を定める権限は各校長にあり、県教委の担当者は「一律に押し付けはできない」と話す。

「比較ナビ」でチェック



中日新聞社は、愛知県内の公立高校(愛知県立、名古屋市立、豊橋市立)165校192課程の

校則をまとめた「愛知の高校校則比較ナビ」を作り、中日新聞Webで公開しました=QRコード。「服装」「頭髪・化粧」「アルバイト」「スマホ・SNS利用」など九つに分類

し、本紙購読者が無料で登録できる中日プラス会員は学校を選んで比較できます。各校の校則全文もあり、ユニークな校則の背景に迫る記事も読めます。